

未来の 医療の ために

基礎研究から新たな医療につなぐバトン

「臨床研究」「治験」と聞いて、皆さんはどんなイメージを抱かれますか？怖さや不安、抵抗を感じる方も多いかもしれません。しかしながら、臨床研究や治験に協力してくれる患者さんのおかげで、医療はここまで発展することができました。これまで開催してきた3回の市民公開講座では、臨床研究・治験についての理解を深めてもらいながら、様々な立場の方々にご講演をいただきましたが、実は、その「臨床研究」「治験」が実施できるようになるまでにも、非常に様々な研究が積み重ねられているのです。本講座では、一見医療とは遠い「基礎研究」と、それを臨床研究につないでいくための「橋渡し研究」にも焦点を当て、臨床研究・治験と共に新しい医療が実を結ぶまでのプロセスについて、京都大学に所属する3名の研究者から講演いただきます。最後に研究者3名を含めたパネルディスカッションを行い、それぞれ異なる分野の視点をもつ研究者の皆さんと一緒に、未来の医療について考えたいと思います。

申込

日時

2.23 2026
[月・祝]詳細をご確認の上
お申し込みください。

14:00~16:00



Zoomによるオンライン配信

プログラム

開会の挨拶 京都大学大学院医学研究科長・医学部長 波多野 悦朗

プロローグ iACT 戦略・広報室 室長 堀松 高博

第1部

体内の不要な細胞を除去する
「基礎研究」
～がん治療への応用～京都大学高等研究院
物質-細胞統合システム拠点
(iCeMS)
教授 鈴木 淳

第2部

ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)による
難治性ガンに対する取組
～複合原子力科学研究所で
実施される「橋渡し研究」～京都大学複合原子力科学研究所
粒子線腫瘍学研究センター
教授 鈴木 実

第3部

iPS細胞を用いた
パーキンソン病の治療法
～「臨床研究・治験」を通して～京都大学医学研究科
人間健康科学系専攻
近未来システム・技術創造部門
教授 澤本 伸克

第4部

未来の医療のために私たちができること

パネルディスカッション

パネリスト

京都大学高等研究院
物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)
教授 鈴木 淳京都大学
複合原子力科学研究所
粒子線腫瘍学研究センター
教授 鈴木 実京都大学医学研究科 人間健康科学系専攻
近未来システム・技術創造部門
教授 澤本 伸克

ファシリテーター

iACT 戦略・広報室 室長
堀松 高博

開会の挨拶 iACT 機構長

妹尾 浩

総合同会 | iACT 戦略・広報室 長野 楓

主催：
京都大学医学部附属病院
先端医療研究開発機構(iACT)協賛：
国立研究開発法人
日本医療研究開発機構(AMED)後援：
厚生労働省、京都府、京都市、公益社団法人 日本医師会、
京都新聞、KBS京都、がん情報サイト「オンコロ」、
難病・希少疾患 情報サイト「RareS.(レアズ)」、
京都大学iPS細胞研究所(CiRA)、京都大学複合原子力科学研究所、
京都大学高等研究院 物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)京都大学
KYOTO UNIVERSITYKU:PH
京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL